



## 平成21年度第2次新まちづくり計画施策進行調書(その2)

政策目標	3	高齢者・障がい者へのぬくもりあふれる街					
重点課題	1	高齢者の地域生活支援の充実					
達成目標の状況							
施策番号	項目	18年度末 (現状)	19年度末 (実績)	20年度末 (実績)	21年度末 (予定)	22年度末 (予定)	22年度末 (目標)
1	地区福祉のまち推進センター拠点設置数(累計)	58地区	59地区	61地区	70地区	74地区	74地区
1	福祉推進員数(累計)	6,170人	6,174人	6,231人	6,500人	6,600人	6,600人
1	(福祉除雪)利用世帯の満足度	90.2%	94.3%	95.7%	90%以上	90%以上	90%以上
1	(福祉除雪)地域協力員の満足度	90.8%	92.5%	95.8%	90%以上	90%以上	90%以上
1	シニアサロンモデル事業設置数(累計)	6カ所	10カ所	11カ所	16カ所	20カ所	20カ所
1	シニアチャレンジ事業実施団体数(累計)	8団体	11団体	15団体	25団体	50団体	50団体
1	ねんりんピック北海道・札幌 2009の開催	開催準備	開催準備	開催準備	開催		開催 (21年度)
1	敬老優待乗車証の利用限度額	5万円	5万円	5万円	7万円	7万円	7万円 (21年度)
2	消費生活みまもり協力員の配置区数	-	3区	10区	10区	10区	10区 (20年度)
2	地区福祉のまち推進センター拠点設置数(累計)	58地区	59地区	61地区	70地区	74地区	74地区
2	福祉推進員数(累計)	6,170人	6,174人	6,231人	6,500人	6,600人	6,600人
2	(高齢者、障がい者の生活あんしん支援)総合的な相談窓口の設置	検討	検討	設置			設置 (20年度)
2	社会福祉協議会の法人後見事業の実施	検討	検討	実施	実施	実施	実施 (20年度)
2	(さっぽろ孤立死ゼロ)市民啓発に出向いた回数(参加人数 累計)	12回 (360人)	18回 (818人)	47回 (2,765人)	67回 (2,010人)	90回 (2,978人)	84回 (2,520人)
2	認知症サポーター養成数(累計)	1,862人	4,207人	7,052人	9,000人	12,000人	9,000人
2	高齢者向け優良賃貸住宅の認定戸数	147戸	147戸	147戸	197戸	247戸	347戸
2	借上市営住宅の認定戸数	894戸	986戸	1,087戸	1,187戸	1,287戸	1,298戸
2	既設市営住宅バリアフリー化事業効果の検証	未検証	30戸	30戸	16戸事業中	検証	検証済み
2	(白石区)地域における要援護者への体制づくり	-	モデル地区 の選定	モデル地区 での取り組 み	モデル地区 での取り組 み	全地区 での取り組 み	全地区 での取り組 み
3	地域包括支援センター設置数(累計)	17カ所	17カ所	17カ所	17カ所	21カ所	21カ所
3	一般高齢者の介護予防事業の開催回数	2,645回	2,707回	2,903回	2,645回	2,645回	2,645回
3	特定高齢者の運動能力向上トレーニング事業、筋力向上トレーニング事業及び一般高齢者の転倒骨折予防事業への参加者数	1,702人	13,086人	14,946人	-	-	2,400人
3	特定高齢者の運動能力向上トレーニング事業、筋力向上トレーニング事業及び一般高齢者の転倒骨折予防事業の開催回数	895回	1,720回	1,865回	-	-	1,137回
3	(夜間対応型訪問介護)利用者数	-	12人/月	62人/月	121人/月	187人/月	460人/月
3	地域密着型特別養護老人ホームの入所定員数	51人	51人	80人	165人	281人	283人
3	(若年性認知症支援)交流会などへの当事者の参加者数	32人	23人	146人	50人	60人	60人
3	高齢者ひとくち講座開設回数	-	-	57回	127回	180回	180回以上 (延べ)
3	口腔ケアに関する介護予防事業の実施回数	241回	188回	173回	430回	500回	500回
	(以下余白)						

## 平成21年度第2次新まちづくり計画施策進行調書(その3)

政策目標	3	高齢者・障がい者へのぬくもりあふれる街
重点課題	1	高齢者の地域生活支援の充実
主 な 取 組 内 容		
施策1	社会参加の機会の拡充と社会貢献への支援	
	19年度(実績)	20年度(実績)
	<p>福祉のまちづくり活動を推進する拠点である福祉のまち推進センター拠点設置数 新規1カ所(累計59地区)</p> <p>地域住民などの協力員による福祉除雪 利用世帯数3,930世帯・協力団体数219団体・地域協力員数2,612人</p> <p>高齢者の地域貢献に係る取組であるシニアチャレンジ事業実施団体数 新規3団体(累計11団体)</p> <p>高齢者の活動の拠点となるシニアサロンモデル事業設置数 新規4カ所(累計10カ所)</p> <p>ねんりんピック北海道・札幌2009(平成21年9月開催)札幌市実行委員会の設置・開催</p> <p>高齢者の外出を支援する敬老優待乗車証の交付 交付申請人数 170,484人(申請率75.9%)</p>	<p>福祉のまちづくりをさらに推進するためのステップアップ事業の実施</p> <p>地域住民などの協力員による福祉除雪 利用世帯数4,118世帯</p> <p>高齢者の地域貢献に係る取組であるシニアチャレンジ事業実施団体 新規4団体(累計15団体)</p> <p>高齢者の活動の拠点となるシニアサロンモデル事業設置新規1カ所(累計11カ所)</p> <p>ねんりんピック北海道・札幌2009リハーサル大会の開催等</p> <p>高齢者の外出を支援する敬老優待乗車証の交付 交付申請人数175,249人(申請率75.4%)</p>
	21年度(予定)	22年度(予定)
	<p>福祉のまちづくりをさらに推進するためのステップアップ事業の実施</p> <p>地域住民などの協力員による福祉除雪 利用世帯数4,100世帯</p> <p>高齢者の地域貢献に係る取組であるシニアチャレンジ事業実施</p> <p>高齢者の活動の拠点となるシニアサロンモデル事業実施</p> <p>ねんりんピック北海道・札幌2009の開催</p> <p>高齢者の外出を支援する敬老優待乗車証の交付 交付申請人数183,909人(申請率75.6%)</p> <p>敬老優待乗車証の年間利用上限額を7万円に引き上げる</p>	
施策2	高齢者の安心を支える地域福祉力の向上	
	19年度(実績)	20年度(実績)
	<p>高齢消費者被害防止ネットワーク事業 中央、北、東の3区で試行実施</p> <p>地域福祉権利擁護事業・福祉サービス苦情相談・高齢者虐待相談・障がい者あんしん相談の総相談件数 10,854件</p> <p>マンションなどの集合住宅に住むひとり暮らしの高齢者の孤立死を防ぐためのさっぽろ孤立死ゼロ推進会議の開催、さっぽろ孤立死ゼロ推進センターの設置及び運営開始</p> <p>認知症の方とその家族を支援するため認知症サポーター養成講座の実施</p> <p>民間活力を活用した借上市営住宅の新規工事着手 2カ所(92戸)</p> <p>階段室型の既設市営住宅に対するエレベーターの新規設置 3基</p> <p>白石区地域住民等による要援護者支援体制づくり モデル地区選定</p>	<p>高齢消費者被害防止ネットワーク事業 全区で実施</p> <p>判断力が低下した高齢者、障がい者などの成年後見制度を含めた総合的な相談窓口として「高齢者・障がい者生活あんしん支援センター」の開設(10月～)</p> <p>社会福祉協議会による法人後見事業の実施</p> <p>さっぽろ孤立死ゼロ推進会議の実施及びさっぽろ孤立死ゼロ推進センターの運営</p> <p>民間活力を活用した高齢者向け優良賃貸住宅の新規認定0戸(管理戸数147戸)</p> <p>民間活力を活用した借上市営住宅の新規工事着手 2カ所(101戸)</p> <p>階段室型の既設市営住宅に対するエレベーターの新規設置 3基</p> <p>白石区地域住民等による要援護者支援体制づくり モデル地区における具体的な支援策の検討</p>
	21年度(予定)	22年度(予定)
	<p>高齢消費者被害防止ネットワーク事業の検証と整備、連携機関の拡充</p> <p>「高齢者・障がい者生活あんしん支援センター」の運営</p> <p>社会福祉協議会による法人後見事業の実施(新規10件の見込み)</p> <p>さっぽろ孤立死ゼロ推進会議の実施及びさっぽろ孤立死ゼロ推進センターの運営</p> <p>民間活力を活用した高齢者向け優良賃貸住宅の新規認定50戸(管理戸数197戸)</p> <p>民間活力を活用した借上市営住宅の新規工事着手 100戸</p> <p>階段室型の既設市営住宅に対するエレベーターの新規設置 2基</p> <p>白石区地域住民等による要援護者支援体制づくり 「町内会担当者打合せ会議」を設置し、日常的な支援体制づくりを進める</p>	

## 平成21年度第2次新まちづくり計画施策進行調書(その4)

政策目標	3	高齢者・障がい者へのぬくもりあふれる街				
重点課題	1	高齢者の地域生活支援の充実				
主 な 取 組 内 容						
施策3	介護・保健福祉サービスの充実による健やかな地域生活の支援					
19年度(実績)			20年度(実績)			
要介護状態へ移行するのを防ぐための各種介護予防教室の実施 ・一般高齢者の介護予防事業開催回数 2,707回 ・特定高齢者の運動能力向上トレーニング事業等 開催回数1,720回、参加者数13,086人 夜間の定期巡回と通報による随時訪問を組み合わせた夜間対応型訪問介護事業 3カ所開設(利用者数12人/月) 自宅での生活が困難になった高齢者が介護を受けながら生活するための地域密着型特別養護老人ホーム工事着手1カ所(定員29人;20年10月開設) 若年性認知症本人や家族などをサポートするための各種支援事業の実施 高齢者の食事アドバイスなどを行う高齢者ひとくち講座を実施するため高齢者のための食生活指針を作成 在宅療養高齢者に対して歯科医師による訪問診療を実施			要介護状態へ移行するのを防ぐための各種介護予防教室の実施 ・一般高齢者の介護予防事業開催回数 2,903回 ・特定高齢者の運動能力向上トレーニング事業等 開催回数1,865回、参加者数14,946人 夜間の定期巡回と通報による随時訪問を組み合わせた夜間対応型訪問介護事業 利用者数62人/月 自宅での生活が困難になった高齢者が介護を受けながら生活するための地域密着型特別養護老人ホーム工事着手2カ所(定員合計56人) 若年性認知症本人や家族などをサポートするための各種支援事業の実施 高齢者ひとくち講座の実施 実施回数57回 在宅療養高齢者に対して歯科医師による訪問診療を実施 実施回数173回			
21年度(予定)			22年度(予定)			
要介護状態へ移行するのを防ぐための各種介護予防教室の実施 ・一般高齢者の介護予防事業開催回数 2,645回 夜間の定期巡回と通報による随時訪問を組み合わせた夜間対応型訪問介護事業 利用者数121人/月 自宅での生活が困難になった高齢者が介護を受けながら生活するための地域密着型特別養護老人ホーム工事着手3カ所(定員合計87人) 若年性認知症本人や家族などをサポートするための各種支援事業の実施 高齢者ひとくち講座の実施 実施回数70回 在宅療養高齢者に対して歯科医師による訪問診療を実施 実施回数210回						
主 な 施 設 、 サ ー ビ ス の 整 備 水 準						
施設(サービス)名	18年度末 (現状)	19年度末 (実績)	20年度末 (実績)	21年度末 (予定)	22年度末 (予定)	22年度末 (目標)
敬老優待乗車証	5万円	5万円	5万円	7万円	7万円	7万円
高齢者向け優良賃貸住宅	147戸	147戸	147戸	197戸	247戸	347戸
地域包括支援センター(介護・健康何でも相談センター)	17カ所	17カ所	17カ所	17カ所	21カ所	21カ所
特別養護老人ホーム	48カ所	49カ所	51カ所	54カ所	57カ所	56カ所

## 平成21年度第2次新まちづくり計画施策進行調書(その5)

政策目標	3	高齢者・障がい者へのぬくもりあふれる街	
重点課題	1	高齢者の地域生活支援の充実	
評価(成果)		課題	
<b>施策1 社会参加の機会の拡充と社会貢献への支援</b>			
<p>平成17年度から実施しているはつらつシニアサポート事業は、高齢者が集うサロンの設置や先駆的な地域貢献活動への支援を行い、高齢者の社会参加や自主的な地域貢献活動を促進している。福祉除雪事業は、利用世帯及び除雪に従事する地域協力員双方の満足度が高い上、地域における支えあい活動の一翼も担っている。また、21年度から敬老優待乗車証の利用上限額を従来5万円から7万円に引き上げ、高齢者の社会参加の促進の一助となっている。</p> <p>21年度においては、上記の事業の実施に加え、本年9月に開催される「ねりんピック北海道・札幌2009」の準備を着実に進めていく。</p>		<p>人口規模の大きい団塊の世代が高齢者となる状況に堪え、元気高齢者ができるだけ社会へ貢献できるような枠組みが求められている。こうした状況下を踏まえて創設されたはつらつシニアサポート事業をさらに発展させるために、自立的な事業運営の働きかけや、地域住民や関係団体との連携を一層高めていく必要がある。</p> <p>また、住民の主体的なまちづくり活動を促進するため、担い手のすそ野の拡大、地域課題の共有化や課題解決に向けた取組への支援も必要である。</p>	
<b>施策2 高齢者の安心を支える地域福祉力の向上</b>			
<p>高齢消費者被害や孤立死といった高齢者を取り巻く今日の課題に対応するための高齢消費者被害防止ネットワーク事業やさっぽろ孤立死ゼロ安心ネットワークモデル事業、さらには高齢者への良質な賃貸住宅を供給する公的賃貸住宅等の整備など、高齢者が安心して日常生活を送るための整備が進められている。</p> <p>また、平成20年10月から判断能力が低下した方の総合相談窓口として「高齢者・障がい者生活あんしん支援センター」を設置し、開設に併せて法人後見事業を開始した。</p> <p>21年度においても、公的賃貸住宅等の整備、関係機関や地域との連携を深めることにより、高齢者の地域での安心生活を支援していく。</p>		<p>高齢者が安心して日常生活を送るため、良質な住宅供給や市営住宅のバリアフリー化さらには新たな地域ネットワーク体制の構築など、ハード・ソフトの両面から安全・安心なまちづくりを推進していく。</p> <p>さっぽろ孤立死ゼロ安心ネットワークモデル事業などソフト面の事業においては、関係機関や地域とのネットワーク形成、活動内容の広報・啓発、さらに地域での担い手となる人材の育成が重要である。</p>	
<b>施策3 介護・保健福祉サービスの充実による健やかな地域生活の支援</b>			
<p>高齢者が住み慣れた地域で自立した生活を送れるよう、地域包括支援センターにおける相談業務、特定高齢者や一般高齢者を対象とした転倒・骨折予防教室などの介護予防事業も着実に浸透してきており、参加者が増加傾向にある。また、若年性認知症に対する理解の普及啓発を図るため、当事者向けの相談会や介護従事者向けの研修会を実施した。</p> <p>平成21年度も引き続きこれら事業の積極的な展開を図るとともに、地域生活の拠点として地域密着型特別養護老人ホームなどの拠点整備を図るなど総合的な介護・保健福祉サービスの充実に努めていく。</p>		<p>将来的な介護サービス量の増加が見込まれる中、介護予防事業の一層の拡充のために、拠点整備の実施やこれに伴う人員強化が必要である。また、各種事業を効果的に周知し、事業内容への理解を促し、参加者のさらなる増加を図っていく。</p>	
<b>今後の重点取組</b>			
<p>人口に占める高齢者の割合が年々高まっている中、高齢者が安心して地域生活を送れるよう必要な支援を行っていく。高齢者の生き方や必要とする支援の種類も多様化しており、これまで以上にきめ細かい対応が求められている。高齢者の消費者被害の防止やひとり暮らし高齢者の孤立死の防止、若年性認知症支援などを通じて、地域での安心生活をサポートしていく。</p> <p>また、今後ますます元気な高齢者の増加が見込まれているが、多様な価値観を持つ高齢者が生きがいを持って地域生活を送れるよう、高齢者の社会参加の機会の拡充や社会貢献活動に対する支援も進めていく。</p>			

平成21年度第2次新まちづくり計画施策進行調書(その6)

政策目標	3	高齢者・障がい者へのぬくもりあふれる街															
重点課題	1	高齢者の地域生活支援の充実															
成果指標等の動向																	
項目1	週2回以上外出する高齢者の割合(単位:%)																
<table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>割合(%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H18 (現状値)</td> <td>78.2</td> </tr> <tr> <td>H19 (実績)</td> <td>76.7</td> </tr> <tr> <td>H20 (実績)</td> <td>75.6</td> </tr> <tr> <td>H22 (目標値)</td> <td>85</td> </tr> </tbody> </table>			年度	割合(%)	H18 (現状値)	78.2	H19 (実績)	76.7	H20 (実績)	75.6	H22 (目標値)	85					
年度	割合(%)																
H18 (現状値)	78.2																
H19 (実績)	76.7																
H20 (実績)	75.6																
H22 (目標値)	85																
項目2	町内会やボランティア活動、老人クラブ活動をしている高齢者の割合(単位:%)																
<table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>割合(%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H18 (現状値)</td> <td>9.5</td> </tr> <tr> <td>H19 (実績)</td> <td>9.2</td> </tr> <tr> <td>H20 (実績)</td> <td>6.5</td> </tr> <tr> <td>H22 (目標値)</td> <td>20</td> </tr> </tbody> </table>			年度	割合(%)	H18 (現状値)	9.5	H19 (実績)	9.2	H20 (実績)	6.5	H22 (目標値)	20					
年度	割合(%)																
H18 (現状値)	9.5																
H19 (実績)	9.2																
H20 (実績)	6.5																
H22 (目標値)	20																
項目3	シニアサロンに参加している人数(箇所数)(単位:人)																
<table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>人数</th> <th>箇所数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H18 (現状値)</td> <td>9,021</td> <td>10</td> </tr> <tr> <td>H19 (実績)</td> <td>18,272</td> <td>11</td> </tr> <tr> <td>H20 (実績)</td> <td>22,252</td> <td>11</td> </tr> <tr> <td>H22 (目標値)</td> <td>48,000</td> <td>20</td> </tr> </tbody> </table>			年度	人数	箇所数	H18 (現状値)	9,021	10	H19 (実績)	18,272	11	H20 (実績)	22,252	11	H22 (目標値)	48,000	20
年度	人数	箇所数															
H18 (現状値)	9,021	10															
H19 (実績)	18,272	11															
H20 (実績)	22,252	11															
H22 (目標値)	48,000	20															
項目4	認知症サポーター養成数(累計)(単位:人)																
<table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>人数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H18 (現状値)</td> <td>1,862</td> </tr> <tr> <td>H19 (実績)</td> <td>4,207</td> </tr> <tr> <td>H20 (実績)</td> <td>7,052</td> </tr> <tr> <td>H22 (目標値)</td> <td>9,000</td> </tr> </tbody> </table>			年度	人数	H18 (現状値)	1,862	H19 (実績)	4,207	H20 (実績)	7,052	H22 (目標値)	9,000					
年度	人数																
H18 (現状値)	1,862																
H19 (実績)	4,207																
H20 (実績)	7,052																
H22 (目標値)	9,000																
項目5	一般高齢者の介護予防事業への参加者数(単位:人)																
<table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>参加者数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H18 (現状値)</td> <td>41,228</td> </tr> <tr> <td>H19 (実績)</td> <td>44,325</td> </tr> <tr> <td>H20 (実績)</td> <td>49,141</td> </tr> <tr> <td>H22 (目標値)</td> <td>58,500</td> </tr> </tbody> </table>			年度	参加者数	H18 (現状値)	41,228	H19 (実績)	44,325	H20 (実績)	49,141	H22 (目標値)	58,500					
年度	参加者数																
H18 (現状値)	41,228																
H19 (実績)	44,325																
H20 (実績)	49,141																
H22 (目標値)	58,500																
項目6	転倒・骨折予防事業への参加者数(単位:人)																
<p>現状値及び目標値には転倒予防教室の参加者を含んでいない</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>参加者数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H18 (現状値)</td> <td>1,702</td> </tr> <tr> <td>H20 (実績)</td> <td>13,086</td> </tr> <tr> <td>H22 (目標値)</td> <td>2,400</td> </tr> </tbody> </table>			年度	参加者数	H18 (現状値)	1,702	H20 (実績)	13,086	H22 (目標値)	2,400							
年度	参加者数																
H18 (現状値)	1,702																
H20 (実績)	13,086																
H22 (目標値)	2,400																
成果指標等から見た重点課題の評価																	
<p>週2回以上外出する高齢者の割合は、少しずつ減少している。外出頻度を上昇させるためには、社会参加を促す施策はもちろん、地域生活の支援や介護予防事業など、総合的な高齢者施策の展開が必要とされる。なお、外出頻度は高齢者の社会参加の度合いを表す指標となりえるが、社会全体の経済状況、高齢者自身の経済状況や体調などにより左右される可能性がある。</p> <p>町内会やボランティア活動、老人クラブ活動をしている高齢者の割合は、対前年度比で2.7ポイント減となった。高齢者の活動は、町内会やボランティア活動、老人クラブ活動以外にも広がりを見せ、多様化している様子がうかがえる。</p> <p>認知証サポーター養成数は大幅に増加しており、一般高齢者の介護予防事業への参加者数と転倒・骨折予防事業への参加者数も堅調に推移している。このことから、介護予防事業への理解や普及が進んでいることがわかる。</p>																	